

環境税論議の現状と今後の展望

～ 環境省の税制改正要望提出を前にして～

2003年8月、環境省は「温暖化対策税(炭素税)」の制度案を提示しました。そしてこの2004年8月末には、いよいよ財務省に環境税導入を伴う「税制改正要望」を行います。これを期に、財務省など他の省庁でも、環境税論議が今後本格化することが見込まれます。

しかし、「環境税は、環境保全に本当に役に立つのか」「環境税は、低所得者の生活を圧迫する政策ではないか」「環境税は、他の多くの税同様、利権配分の道具と化し税収が非効率・不公正に使われるのではないか」といった疑問を抱いている市民・企業も少なくありません。適正な環境税制構築のために、議員や官僚など政策担当者に任せきりにすることなく、多数の市民が環境税に関心を持ち今後の環境税実現のプロセスに参画していくことが、今まさに求められています。

当センターでは、上記のような疑念を払拭する市民参加型の環境税構築を推進するため、環境税における論点を一般の方々にも分かりやすく紹介した書籍『環境税 - 税財政改革と持続可能な福祉社会』を出版しました。

本セミナーでは、本書籍で示した環境税に関する論点を提示しつつ、政策担当者・企業・研究者・NGOの方々と共に、公正かつ効果的な環境税の導入に向けてこれまでの議論の課題を浮き彫りにし、環境税論議の今後を展望します。ぜひお気軽にご参加下さい。

日時：2004年8月25日(水)
18:30～21:00

会場：環境パートナーシップオフィス会議室
東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山 B2F
(最寄駅：地下鉄表参道駅 B2 出口より徒歩5分
JR 渋谷駅東口より徒歩10分)

参加費：1,000円 (JACSES 賛助会員 500円)
主催：「環境・持続社会」研究センター(JACSES)



<セミナー内容>

第1部：講演

「環境省の検討状況・税制改正要望の内容」
環境省より

「環境税の論点と現状の評価、今後の展望」

足立治郎(「環境・持続社会」研究センター<JACSES>)

第2部：パネルディスカッション「これまでの環境税論議の評価・今後の展望」

パネリスト：正田剛氏(日本自然エネルギー株式会社代表取締役社長)

鮎川ゆりか氏(WWF ジャパン・環境省中央環境審議会施策総合企画小委員会委員)

平田仁子氏(気候ネットワーク)

司会：伊藤康氏(千葉商科大商経学部助教授)

お申し込み先<下記あてにファックスもしくはEメールでお申込ください>

特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター(JACSES) 担当：石塚

東京都港区南麻布5-2-32 興和広尾ビル2階

電話：03-3447-9585 FAX：03-3447-9383 E-mail:jacsces@jacsces.org

本セミナーは、環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて行われます。

